



東北大学

2013年2月15日

報道機関 各位

東北大学災害科学国際研究所

**東日本大震災2周年シンポジウム
「復興の支援と日本の再生- 災害科学国際研究所の役割と貢献-」の開催について**

東日本大震災から2周年を迎えた今、東北大学に新たに設置された災害科学国際研究所が、震災からの復興と日本の再生に向けて、この1年、どのような活動をしてきたかを振り返る東日本大震災2周年シンポジウム「復興の支援と日本の再生- 災害科学国際研究所の役割と貢献-」を下記のとおり開催します。

本シンポジウムでは、世界中どこでも起こりうる巨大災害の被害を軽減するために、人間や社会がどのような形で具体的に問題を解決していくのか、その学問的な礎を築く上での、研究所の役割と方向性を再確認し、今後のさらなる努力と活躍を誓います。

ぜひ、広くご案内いただきますようお願い申し上げます。

記

日時：2013年3月10日（日）13:00～17:00

会場：トラストシティカンファレンス・仙台（仙台トラストタワー）

主催：東北大学災害科学国際研究所 <http://irides.tohoku.ac.jp/index.html>

参加費：無料

申込み：ウェブフォームもしくはFAXで事前申し込み。先着順（定員300人）

ウェブフォーム：<http://goo.gl/CHi1w>

FAX：022-795-4844（担当：鈴木）

（お問い合わせ先）

東北大学災害科学国際研究所

情報管理・社会連携部門

災害復興実践学分野 教授 佐藤 健

TEL 022-795-7509



東日本大震災2周年シンポジウム

復興の支援と日本の再生

—災害科学国際研究所の役割と貢献—

東日本大震災から2周年を迎えた今、東北大学に新たに設置された災害科学国際研究所が、震災からの復興と日本の再生に向けて、この1年、どのような活動をしてきたかを振り返る。

また、世界中どこでも起こりうる巨大災害の被害を軽減するために、人間や社会がどのような形で具体的に問題を解決していくのか、その学問的な礎を築く上での、研究所の役割と方向性を再確認し、今後のさらなる努力と活躍を誓う。



日 時：2013年3月10日（日）13:00～17:00

会 場：トラストシティカンファレンス・仙台（仙台トラストタワー）

主 催：東北大学災害科学国際研究所 <http://irides.tohoku.ac.jp/index.html>

参加費：無料

申込み：ウェブフォームもしくはFAXで事前申し込み先着順（定員300人）

総合司会：小野裕一（社会連携オフィス）

プログラム

13:00～13:15 **挨拶**

東北大学 総長 里見 進

災害科学国際研究所長 平川 新

13:15～14:00 **記念講演**

「地震学研究の最先端～災害科学への期待と課題～（仮題）」

加藤 照之（東京大学地震研究所地球計測系研究部門・教授、日本地震学会・会長）

14:00～14:10 休憩

14:10～15:40 **研究報告**（各15分）

越村 俊一（災害リスク研究部門／広域被害把握研究分野・教授）

杉浦 元亮（人間・社会対応研究部門／災害情報認知研究分野・准教授）

姥浦 道生（地域・都市再生研究部門／都市再生計画技術分野・准教授）

藤本 博己（災害理学研究部門／海底地殻変動研究分野・教授）

富田 博秋（災害医学研究部門／災害精神医学分野・教授）

柴山 明寛（情報管理・社会連携部門／災害アーカイブ研究分野・准教授）

15:40～15:50 休憩

15:50～16:50 **パネルディスカッション**

「復興の支援と日本の再生—災害科学国際研究所の役割と貢献—」

コーディネータ 板橋 恵子（ラジオパーソナリティ）

パネリスト 渡辺 日出雄（日本IBM東京基礎研究所・ラッグ・インフラストラクチャー マネージャー）

加藤 照之（前掲）

山田 文雄（仙台市復興事業局長）

西條 允敏（株式会社街づくりまんぼう・代表取締役）

中谷 純（東北大学大学院医学系研究科社会医学講座医学情報学分野・教授）

今村 文彦（東北大学災害科学国際研究所・副所長）

16:50～17:00 **閉会挨拶**

真野 明（東北大学災害科学国際研究所教育研究評議会・評議員）

◆参加申し込み方法

ウェブフォームによるお申し込み <http://goo.gl/CHi1w>

FAX によるお申し込み 022-795-4844（担当：鈴木）